

学校の教育目標：「自他を大切にし、共に伸びる児童の育成 ～元気・笑顔・成長～」

相良村立相良南小学校だより

校訓「やさしく かしこく たくましく」



「元気・笑顔・成長」南小

第7号 令和5年7月10日発行

発行者 校長 田口広治

児童数 172
PTA数 126

健康教育の取組が進んでいます

■本校の健康教育は、「体の健康」「心の健康」「頭の健康」の3つの方向から取組を進めています。6月も様々な取組や授業を進めました。

■6月8日(木)には、5年生に対して、球磨教育事務所スクールカウンセラーの宮崎保成先生に「ストレスマネジメント」の話をさせていただきました。

心の悩みやストレスに対してどのように対処したらいいのかが、難しいことです。話の中では、後出しじゃんけんをやってみて、体験的に「考え方のくせ」について考えることができました。

また、リフレーミングを行い、見方を変える方法を

■6月13日(火)には、6年生に対して、学校歯科医の清水先生に「むし歯と歯肉炎の予防」の話をさせていただきました。

むし歯のでき方や予防の仕方など、大切な話をされました。その中で、特に強調されたのが、次の3つの約束です。

「食後・寝る前には必ず歯をみがく」「おやつをだらだら食べない」「よくかんで食べる」

■6月26日(月)には、6年生に対して、学校医の緒方創造先生に「病気の予防」について話をさせていただきました。

病気の中でも特に「心疾患・脳血管疾患・がん」について、その原因や予防、症状など画像を交えて話をされました。病気を予防するには次のことが大切だと話されました。

「食べ過ぎないで運動する」「しっかり寝る」「歯を磨く」



↑相良南小学校HPでも各取組を掲載しています。



■ 6月29日（木）には、4年生に対して、地域包括支援センターや役場の方から「認知症サポーター講座」を行っていただきました。

「認知症」の原因や症状とともに、どのように接したらいいのかをスライドや劇風のクイズで説明していただきました。

「やさしく接する」「しっかり話を聞く」ことの大切さを学ぶことができました。



健康教育の授業も進んでいます

■ 6月8日（木）には、2年特活「夏野菜のパワーを知ろう」という内容で、長谷先生・仲嶺先生・犬童先生がチームで授業をされました。子供たちは家では野菜を食べていない人が多くなっている実態があります。授業では、栄養教諭の犬童先生が実験を通して野菜の特徴を教えられます。その特徴が体にどんないいことがあるのかを養護教諭の仲嶺先生が教えられます。子供たちは「残さず食べたい」という思いを強くしていました。



■ 6月14日（水）には、6年保健「病気の予防」という内容で、久保田翔大先生が授業をされました。「病気にかかる原因は何だろう」と問いに対して、子供たちはグループで様々な考えを出し合っていました。原因は、「病原体」「生活の仕方」「抵抗力」「環境」の4つにまとめられました。この授業が、緒方創造先生の講話に続いています。専門的な話を聞くことで、より深い学びにつながります。

■ 6月15日（木）には、みどり学級「おなかすっきり だいさくせん！」という内容で別府先生・仲嶺先生がチームで授業をされました。子供たちは朝からトイレに行かずにおなかすっきりしない状態で過ごしている場合があります。そこで「おなかをすっきりさせるにはどうしたらいいか」を考える授業をされました。おなかの中の消化の仕組みやどんなことが体にいいのかについては、養護教諭の仲嶺先生が分かりやすく話をされました。

■ 健康教育の「行動化・生活化」を進めるには、各家庭のご協力が必要です。各ご家庭でも健康的な生活習慣・食習慣づくりを行っていただきたいと思ひます。

